

市の重点課題	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
<p>希望あふれる未来を自ら拓く力を育むための教育課程の編成</p>	<p>生徒・職員の情報活用能力を育成するとともに、タブレット端末等のICT機器を有効活用した学習づくりを行う。</p> <hr/> <p>学習指導要領の内容が確実に身につくように、地域の教育資源を積極的に活用し、地域の特性を生かした教育課程を編成する。</p>	<p>A</p>	<p>・すべての教員が、年1回の公開授業を行い、分かる実感味わえる授業ができるよう、指導方法の検証をすることができた。</p> <p>・協働学習を位置付けて、仲間と練り合うよさを味わわせることができた。</p> <p>・タブレット端末の学習アプリ(スタディサプリ)の有効利用について職員で研修し、生徒の学習に取り入れることができた。</p> <p>・生徒アンケートでは、タブレットを有効活用していると答えた生徒が89%であった。</p>	<p>○生徒・職員ともタブレット端末等を活用し、わかりやすい授業になっている。</p> <p>○タブレット端末を利用することで、欠席しても情報が得られ、安心できた。</p> <p>○職業体験など、地域に密着した行事で、子どもたちの社会性が養われている。</p> <p>○小学校、高校との連携が取れており、教わる側、教える側の両方を実践することができている。</p> <p>●ICTの得意な先生が講師となって勉強会をされると、活用の幅が広がると思う。</p>	<p>・協働学習は、交流する中身の質を向上させ、見方や考え方を深めていきたい。アウトプットについては、段階的指導を行うようにしていく。</p> <p>・タブレット端末の多様な活用の仕方を職員間で共有していくことで、生徒の多様な学びにつなげることができる。職員の活用研修を継続していく。</p>
<p>コミュニティ・スクールの機能の充実と岐阜市型小中一貫教育の推進</p>	<p>支援推進委員会を核とし、「虹風づくり・作業学習」「地域貢献」「安全・安心」のために地域と連携し、生徒のためのチーム学校の組織をつくる。</p> <hr/> <p>地域貢献を柱とした「ボランティア活動」や、虹風を柱とした「ぎふMIRAI's」を積極的に推進し、幼小中高の学びの連携を図る。</p>	<p>B</p>	<p>・支援推進委員会やPTAが積極的に学校運営にかかわり、学校の活性化や環境設備の充実を図ることができた。</p> <p>・1年生の総合的な学習の時間は、支援推進委員会「学び部(鏡島風揚げを楽しむ会)」を講師とし、郷土文化理解が深まった。</p> <p>・小中一貫教育として「協働学習」の教育実践を行うことで、生徒同士で学び合える関係が築かれている。</p>	<p>○虹風を通して地域と学校が一体化できていると思う。</p> <p>○地域の人に、積極的にあいさつができる生徒が多い。</p> <p>○ボランティア活動に参加した生徒が、やってよかった、と言ってくれてうれしい。</p> <p>○校区の文化祭への中学生の参加は、地域と一体となって活動するとてもよい機会となっている。今後も参加を願う。</p> <p>○地域のボランティアに参加しやすい仕組み作り、学校も協力してくれている。</p> <p>○イベント等のスタッフだけではなく、企画立案から運営まで活動してくれており、とても頼もしく思う。</p> <p>●土日の参加は大変だとは思いますが、地域の活動に中学生の積極的な参加を期待したい。</p> <p>●風作りに関して、生徒の情熱に温度差がある。</p> <p>□ボランティア活動で、誰かを支えることで、支えられていたことに気づけるといい。</p>	<p>・「精華中学校区の子供たちを学校・地域で育てる」ことを目指し、学校と地域の協働活動を推進していく。</p> <p>・セイカの時間(総合的な学習の時間)における指導計画を見直し、支援推進委員会やPTAと連携し、地域資源を有効に活用し、地域人材から生き方を学ぶ「ぎふMIRAI's」を編成する。</p>
<p>あたたかさや働きがいにあふれる学校づくり</p>	<p>協働学習を基盤とした「スマイル活動」を進め、生徒間に安心・つながり、絆を生み出し、思いやりのある学校風土づくりに努める。</p> <hr/> <p>互いに尊重し合い、声をかけ合い、カバーし合う雰囲気と職員集団を育成する。</p>	<p>A</p>	<p>・生徒、保護者アンケートでは、楽しく学校生活を送れていると答えたのが、生徒は96%、保護者は95%であった。生徒の自主性を大切にした活動の成果だと思われる。</p> <p>・生徒会が中心になり、スマイル活動や創造的な活動を推進しており、生徒の中でも根付いてきている。</p>	<p>○生徒の言動から、スマイル活動が推進されていると感じられます。</p> <p>○いつ学校へ行っても、大きな声であいさつをしてもらえて、いい雰囲気できている。</p> <p>○学校の建物は新しくはないが、常に整理整頓されており、些細な変化にも気づきやすい環境になっている。</p> <p>○登校時、先生方が街頭に立ち、積極的に挨拶する姿は、嬉しい。</p> <p>○体育祭の時、先生たちがおそろいの服を着て、子どもたちと一緒に楽しんでいてよかった。嬉しい気持ちになりました。</p> <p>○「リレーマラソン」に精華中職員チームが参加され、精一杯走られる姿から職員集団の和の強固さを実感した。保護者、生徒の応援する姿からも温かみのあふれる学校づくりが推進されていると感じた。</p>	<p>・生徒会を中心として、精華中学校の生徒がスマイルになる「スマイル活動」を充実させる。また、生徒の自主性、創意工夫ある活動を充実させる。</p> <p>・日常の活動や行事の取り組みの中で、仲間との関わり合い、協力、思いやりを生み出す。また、「仲間とともに成長できた」という喜びを実感させる。</p>

<p>子どもたちが安心して学べる学校づくり</p>	<p>いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止と早期発見に取り組む、生徒の思いに寄り添った対応を組織的に考え、早期解決に努める。</p> <p>ICT(スマート連絡帳の「ここたん」)や生活向上アンケート等により、生徒の困り感を早期に把握し、早期解決に努める。</p>	<p>A</p>	<p>・いじめの未然防止のため、いじめ対策監を中心に、組織での対応とともに、温かい人間関係づくりを育む取り組みができた。</p> <p>・生活向上アンケートや日常の生徒観察などから情報を得るとともに、生徒が安心して生活できるために組織で対応することができた。</p>	<p>○いじめ防止基本方針の具現に向け、全職員で取り組んでいることが理解できる。</p> <p>○登校時に、いい表情で登校する姿が見られ、安心して学べる学校であることがわかる。</p> <p>○定期的なアンケートとそのフォローにより、安心して生活が送れている。</p> <p>●アンケートに書きたくても書けない子もいるのかな？些細なことを書いて、大げさになるのが怖くて書けない子もいるのかな？調査方法のアップデートも必要。</p> <p>●「いじめを見逃さない日の取組」が形式的にならないようにしてほしい。いじめをゼロにする思いを強くする日になることを願う。</p> <p>□実際の活用例を知りたい。</p>	<p>・いじめへの取り組みでは、「予防」「早期発見」「よりよい対応」を大切にしている。なかでも、「予防」に重点を置いて取り組んでいる。「いじめを生まない、許さない環境づくり」「よりよい人間関係を育む」指導を充実させていきたい。</p>
<p>災害、事故に対する安全性の確保</p>	<p>火災や地震等を想定した「命を守る訓練」を実施し、自ら命を守る意識を育てる。また、地域の一員として地域に貢献できるスキルの育成を図る。</p> <p>「交通安全・水難事故防止の啓発」等を行い、自ら命を守る意識を育てる。また、生徒の危機回避能力の育成を図る。</p>	<p>B</p>	<p>・「命を守る訓練」では、実際に災害が起きた時を想定して訓練を実施することができた。</p> <p>・交通事故(特に自転車事故)に関わる安全指導を継続して行うことができた。</p>	<p>○命を守る訓練を実施されており、防災意識が高まっていると感じられる。</p> <p>○精華中生の防災についての発表を見ました。素晴らしい発表で、頼もしさを感じました。</p> <p>○自転車に乗る生徒の、ヘルメットの着用が徹底されている。</p> <p>●登下校時に災害が起きたら怖いと思う。避難場所、AEDの場所はみんな知っているのかな？</p> <p>●自転車での並走をたまに見かける。</p> <p>●地域の防災訓練に、地域住民と一緒に参加することにより、地域の一員としての自覚をもち、地域一体となって災害に対処する意識がもてるとよい。</p> <p>□4月には、登校時に危ないと思うこともあるが、先輩を見て育ち、また、お手本となる生徒に育っていく…。その繰り返しが行われていると感じます。</p>	<p>・「自分の命は自分で守る」意識と行動力向上のため、掃除の時間や昼休みなどいろいろな場面を想定した訓練を教職員も含めて行っていく。</p> <p>・不審者進入時の対応訓練を実施する。</p>
<p>教育環境と学校財務環境の整備及び効果的な活用</p>	<p>安全点検を組織的に実施し、生徒にとって安全・安心で学びやすい教育環境になるよう学校の教育環境の工夫改善を図る。</p> <p>ICT(スマート連絡帳、Teams)を活用することで、業務内容をスリム化し、学校財務の適切な管理を図る。</p>	<p>A</p>	<p>・安全点検表をもとに、毎月の安全点検を視点をもって実施し、備品や施設整備を計画的に行うことができた。</p> <p>・産業医による安全衛生委員会が毎月行われ、職場環境の改善のために、職員への指導が行われた。</p> <p>・業務のスリム化に向けて、ICTを効果的に利用することができた。</p>	<p>○生徒の様子から、学校の雰囲気がとても良いものとなっていると感じられる。</p> <p>●AIが社会の大部分になっても、教育は「1万人いれば1万通りの方法」が必要。</p> <p>□手紙が減っていい面がたくさんあるが、見逃す恐れもあるので、気を付けたい。</p> <p>□業務のスリム化の具体例を知りたい</p>	<p>・生徒が学びやすいように環境を整備し、安全・安心を担保することで、落ち着いた学習環境をつくりだす。</p> <p>・校舎内外施設の老朽化に対応できるよう、日常の安全意識を向上させる。</p> <p>・業務の精選については、授業の充実、生徒の安心、学校への信頼感を維持したうえでのスリム化を推進する。</p>